

防犯対策 まとめ

台見台
転用禁止

ドア(玄関・勝手口)

・2ロック以上の取り付けを行う

防犯性の高いシリンダーが理想ですが、1ロックよりは、ダミーシリンダーでも狙われにくくなる効果はあります(1シリンダーは狙われやすい)



・サムターン回し対策を行う

ガードカバータイプよりサムターン取り外しタイプかキャップタイプがお勧め(後付けタイプも販売されてます。2~3000円程度)



・アームロックを取り付ける

勝手口などには必須アイテムです(自分でも取り付けできます)
(チェーンタイプは容易に切断されるのでアームロックが良い)



・ドアチャイムを取り付ける

玄関や勝手口のドアを開けると音が鳴るマグネットセンサーで、チャイムとブザーの切り替えができるタイプのものを取り付ける。



普段はチャイムに設定しておけば お客様に不快感を与えない状態で居空きや無締り対策として使用できます、また留守時はブザーに切り替え空き巣対策として使用できます。

窓

・クレセント周辺に防犯フィルムを貼り付ける。

あまり高価なものでもなくても効果はあります。



・クレセントガードプレートを取り付ける

防犯フィルムに対し防御領域が小さいため防犯性は落ちる



・クレセントが回せないようにカード部材をつける

クレセント自身が回せないため防犯性は高い



・窓の上下に補助錠を取り付ける。

鍵つきなど片手で外せないタイプのものがお勧めです

・補助錠などの設置を示す警告ステッカーを貼る。

簡単に侵入出来ない対策をしても、バール等でガラスを叩かれると、数万円の修理費用が必要です。犯行を諦めるように防犯設備を誇示することも重要です。



・小窓には防犯性の高いタイプの面格子を取り付ける

面格子が付かない窓には、内側にインナーフェンスか、ツツパリ棒(防犯ブザー付き)を取り付ける

ホームセンターなどで販売している、アルミやステンレス材料を直接窓の内枠にビス止めすると手軽で絶大な防犯効果が得られます。



・窓アラームを取り付ける

窓を開けると大音量の警報音のなるタイプを取り付けておくと、忍び込みや居空き対策としても有効です。

